

第六十五回フォト句優秀作品（28年9月12日）



詐欺と呼ばれ不満で全身  
真っ白に 中村 晃也  
寸評：東宮公園でのスナップ。写真はマアママとしても、  
句に深みが無く物足りない



公園も今や珍獣  
狩猟場に 下山 健夫  
寸評：ポケモンが出るという公園はスマホを持った若者が集まる。時代性はあるが、この写真では作者の意図が伝わり難い。



庭先のブドウの蔓に

ワイン成る 平尾 富男  
寸 評：窓辺に並んだワイン。  
ウイットに富んだ下5の措辞  
に点が集まった。



君となら話が解る  
ママとより 矢澤 正二  
寸 評：ロボットと話し  
ている少年。話の解らな  
いママは多い。世間の夫  
はみなそう思っている。

## 付け句



今月は下山さんの出題。東久留米近辺の小川に面した原っぱでのスナップ。撮影の主な目的は手前の**白つめ草の群落**にあったそうです。

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1) 別居の子遠くから撮るパパごころ          | 中村 晃也 |
| 2) フォト句にと撮ってはみたが句はつかず       | 池田 隆  |
| 3) 遠足も今じゃ近所の空き地まで           | 松田 昌康 |
| 4) ミニスカがレッドキャップを <b>睥睨し</b> | 平尾 富男 |
| 5) ちびっこの数だけ参加カメラマン          | 安藤 晃二 |

寸評：

- 1) 別れた妻についていった子供をひと目みたいパパの心境。身につまされます。念のため、作者は離婚暦はありません。
- 2) この写真、どこに焦点があるのか撮影者の意図が解らない。句を付ける会員の身にもなってほしい、との意見に全員賛意を示しました。
- 3) 今日は遠足。結構歩いたみたいだが、気がつけばここはいつも遊んでいる空き地だった。遠方から通っている先生が知らないだけ。
- 4) **作者が**一番に気付いたのが先生のミニスカート。生徒の赤い帽子をレッドキャップと洒落てみたが、**睥睨し**の措辞で句意が散漫になった。
- 5) 子供の遠足に両親の他にジジもババもカメラを下げてゆく時代です。子供たちより付き添いのふが多いことも。